

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後クラブ ルンバレンバ原町				公表日	2026年3月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	室内以外での活動をしている。	移転先でも継続して室内外での活動を行う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	スポット職員などを導入している。	ボランティアや学生、スポット職員などを配置していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	集会を実施して共有している	イラストを増やすなどの可視化した構造化なども検討へ	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	こどもたちと帰りに掃除を行っている。	危険などがある場所での事前声かけなどは最小限にて注意させることが必要	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	面談室や職員休憩室などを使うこともある	体調が悪いなどの際にも対応できるようにしていく	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	毎朝昨日の振り返りを行っている。	職員研修（OJT、OFFJT）にて確認をしていくことを目標にする	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	モニタリングを行い面談にて保護者へ伝え、職員にて共有をしている。	ルンバの強みでもあるため継続して取り組んでいく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎朝の打ち合わせで意見などを集めながら支援に臨んでいる。	段階を経て取り組むこともあり、保護者へは説明をしながら一緒に進めていく	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	事業所間連携会議、担当者会議などを開催、参加して他事業所と連携。取り組み内容などの報告は目当てと活動写真で説明	継続してさまざまな関係機関とできる限り連携して業務改善を目指していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	年間研修スケジュールを作成し、法定研修・支援スキル研修・社会人の考え方の研修を行っている	現場にてOJTも充実しながら資質向上に努める	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	毎年ホームページ「ルンバレンバの特徴」ページに公表している	保護者面談などの際にも公表場所案内、プリントして配布など要望確認する	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	評価の際に職員より児童のアセスメントを行う。面談内容などを反映しながら職員と共有して作成している	継続して実りある支援のためにチームで活動を進めていく	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	「できるを伸ばし、苦手を練習する」練習する機会を損なわないようにしている	保護者との計画内容の確認と日頃の支援報告等が重要。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	評価の際に職員より児童のアセスメントを行う。面談内容などを反映しながら職員と共有して作成している	継続して実りある支援のためにチームで活動を進めていく	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	アーチルなどの発達検査の資料をもとに得意と苦手を確認している。	検査結果とその見方、そして支援方法へ。みんなで共同で取り組みを行う	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	家族支援・移行支援・地域支援とは何かを面談の際に説明をしているが、理解の確認が不十分な場合もあると認識している	面談時に、聞き覚えのない表現などを聞いて説明を行うことで解消していく	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	毎朝の打ち合わせで意見などを集めながら支援に臨んでいる。	段階を経て取り組むこともあり、保護者へは説明をしながら一緒に進めていく	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	毎朝の打ち合わせで意見などを集めながら支援に臨んでいる。	段階を経て取り組むこともあり、保護者へは説明をしながら一緒に進めていく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	毎朝の打ち合わせで意見などを集めながら支援に臨んでいる。	段階を経て取り組むこともあり、保護者へは説明をしながら一緒に進めていく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	毎朝の打ち合わせで意見などを集めながら支援に臨んでいる。	段階を経て取り組むこともあり、保護者へは説明をしながら一緒に進めていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	毎朝の打ち合わせで意見などを集めながら支援に臨んでいる。	段階を経て取り組むこともあり、保護者へは説明をしながら一緒に進めていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	毎朝の打ち合わせで意見などを集めながら支援に臨んでいる。	段階を経て取り組むこともあり、保護者へは説明をしながら一緒に進めていく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	半年に1度モニタリングを実施している。必要に応じて連携会議なども行っている。	段階を経て取り組むこともあり、保護者へは説明をしながら一緒に進めていく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	0	5領域を総合療育として実施している。	段階を経て取り組むこともあり、保護者へは説明をしながら一緒に進めていく
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	運動活動・パフ作りなどでは、「こどもが中心になり考え企画」を大切に支援をしている。	こども新聞やこどもパティシエ企画などこれまで積み重ねてきた力を発揮させリーダーを作っていく。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	事業所の代表として、児童発達支援管理責任者が参加している。	支援の時間帯に重なる際などはオンラインなどを使い取り組んでいる。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	宮城野区役所など協議会などでアドバイスなどをもらう機会を作っている	感染症などの研修に講師として招くことなども検討する
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	保護者を経由しながら取り組んでおり、必要に応じて学校へ直接でんわ連絡をして確認などを行っている。	保護者より学校へ放課後使うデイサービスの報告を連絡帳などで共有していただく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	申し込み時期にもよるが、園を見学などしてアセスメントを行うことを実施している。できない場合は電話連絡などで対応へ	保護者に確認しながら進めていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	中高生は就業体験見学を行っており、その場で保護者からの質問の機会なども行なっている。	就労に関する紹介などのシステムが変わってきていることもあり就労事業所と話を取り組んでいく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	研修機会はないが、協議会などを通じて接点を設けている。	療育手法などについては、LITALICO研修サイトなどもあり時間をみて職員みんなで学ぶ機会を作っている
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	児童クラブと連携はまだ双方にて準備が整っていない。	弊社の活動に理解ある児童館関係者または児童が見学などを通じて交流機会を作っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	午前中開催の場合は今年度参加を開始した。	参加する職員を厳選する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	面談を通じて話をしている。	詳しい取り組みなどを見たい保護者などは、療育現場の参観なども進めていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	面談にて自宅等での保護者の関わり方についてお伝えしている。	専門用語などではなく、わかりやすく伝えることを心がける
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	通所開始の際の契約時に保護者へ丁寧に説明を行っている	利用者負担などについては請求書を手渡しでお渡しする際、または面談時に不明箇所などを聞くこと
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	本人の思い、保護者の思いなどを確認して計画に反えさせている。	面談時は希望により本人同席で行うこともある。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	わかりやすく動画で説明することなども行っている。評価の材料として保護者から子供達への頑張るポイントとして継続している	活動現場に来て我が子が意識してしまうことなどないか心配な保護者もいる。他児童のこともあり少しずつ取り組んでいく。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	引き渡し時、または事前LINE連絡帳などで情報がある際は担当者が内容を確認して支援を行うこともある	引き渡しの際などにて、質問などがあった場合は内容に応じて担当職員へ報告。報告を受けた職員が対応し情報を共有する
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	4	保護者会については個人情報などの観点もあり、慎重に進めていきたい。中高生の職業体験見学の際は保護者同席で交流機会は作っている	こどもたちの長期休みのイベントにて招待するなどから進めていきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	報告などの不備により起こってしまうと考える。	こどもの表情や様子などを見ていつも違うところを観察。事前に保護者へ伝え様子を見てもらうなどが必要になる。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	開所当初からLPN通信を発行し、ホームページに活動ブログを公開している。また、保護者専用のLINE連絡帳にて行事案内	今後は保護者の同意を求めながらSNSを中心に活動報告などを行うことを検討
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	契約時に書面に確認をしている	契約後、活動報告などにおいて気になるころなどを面談などで聴取することが必要
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	保護者より相談が寄せられる内容。独自の取り組みなどを行っている保護者もいる	職員間でもこどもとの意思疎通について要望が聞こえてくるためできる限り保護者の意図を汲んでいくことを行う
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	さまざまな問題があり躊躇している。	商店街などにこどもたちと出向いて買い物や職業見学などを行って少しずつ交流機会を作っていく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	社内で作成した内容の研修訓練などを定期的に行っている。引き渡し方法を職員と児童で取り組んでいる	ホームページにマニュアル掲載し、保護者面談時に伝える
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	社内で作成した内容の研修訓練などを定期的に行っている。引き渡し方法を職員と児童で取り組んでいる	委員会開催しブラッシュアップを行う
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	契約時に書面にて確認している。服薬に関しては自宅で済ませてからなど、保護者へ伝えて対応している	てんかん発作についての対応方法は職員の研修など行う
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	契約時に保護者へ書面にて確認している。	おやつなどの情報も含めて要確認
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	外出活動などにおいては日頃の「指示に応じる」を基本にこどもたちへ指導している。車両、不審者、災害、怪我等に対応している	安全管理について職員に周知して継続的に指導していく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	契約時に引き渡しカードを作成している。	情報更新などの場合は保護者面談などで確認する
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハット事例を職員で共有し再発防止に取り組んでいる。	職員の支援の質の向上にも活かされるため継続して共有を行う
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	年間研修スケジュールにて研修を実施	動画などを参照し確認していく。必要に応じて外部研修も検討する
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	契約時、面談時に様子を伝えやむおえない場面などもわかりやすく説明している	保護者から子供へ、職員から子供への説明については今後確認必要	